

# 海洋調査技術学会

2016事業年度

## 第28回通常総会

日時：平成28年10月25日（火） 11:25～12:10

場所：日本大学工学部駿河台キャンパス1号館2F

大会議室（121室）

海洋調査技術学会  
第28回通常総会  
議事次第

日 時 平成28年10月25日(火)  
13時20分～14時20分  
場 所 日本大学工学部駿河台キャンパス2F 大会議室(121室)

1. 開 会

2. 表 彰 式

3. 議長選出

4. 議 事
- (1) 2015事業年度事業報告について (第1号議案) 承認事項
  - (2) 2015事業年度決算報告について (第2号議案) 承認事項
  - (3) 2016事業年度事業計画案について (第3号議案) 承認事項
  - (4) 2016事業年度予算案について (第4号議案) 承認事項
  - (5) 2016事業年度表彰について 報告事項
  - (6) その他

5. 閉 会

2015事業年度事業報告案  
(2015.10.1～2016.9.30)

1. 総会及び委員会等

(1) 第27回総会の開催

期日 2015年11月12日

場所 海上保安庁海洋情報部10階国際会議室

議題 2014事業年度事業報告及び決算報告について  
2015事業年度事業計画案及び予算案について

(2) 評議員会、各委員会の開催

下記の会議が開催された。

ア) 評議員会

期日 2015年11月12日

場所 海上保安庁海洋情報部

イ) 総務委員会(拡大総務委員会)

期日 2015年11月9日(拡)

場所 (一財)日本水路協会

ウ) 企画委員会

期日 2016年6月1日

2016年9月27日

場所 (一財)日本水路協会

エ) 編集委員会

期日 2015年10月29日

2016年2月10日

2016年5月10日

2016年8月1日

場所 (一財)日本水路協会

2. 研究成果発表会及び講演会等

(1) 第27回研究成果発表会

期間 2015年11月12日～13日

場所 海上保安庁海洋情報部

特別講演 1件

特別セッション 5件

発表 12件

ポスターセッション 5件

(2) 機器展示会

期間 2015年11月12日～13日

場所 海上保安庁海洋情報部

参加数 8社（会員7社、非会員1社）

(3) 一般講演会（海洋調査技術の啓発、地方講演）  
実施なし

(4) 出前講座（海洋調査技術の啓発、関東地方）  
実施なし

(5) 講演会、シンポジウム等の共催  
実施なし

### 3. 学会誌

海洋調査技術第28巻1号（通巻55号）（2016年3月）

海洋調査技術第28巻2号（通巻56号）（2016年9月）

### 4. ニュースレター

第59号（2016年 3月）

### 5. HP運用・メールマガジンの配信

HP URL：<http://jsmst.org/>

学会関連情報等をメールマガジンを利用して会員に配信した。

### 6. 講演会・シンポジウム等への協賛

(1) 第44回可視化情報シンポジウム

主催 一般社団法人 可視化情報学会

期間 2016年7月19日、20日

場所 工学院大学新宿キャンパス

(2) 第57回海中海底工学フォーラム

主催 海中海底工学フォーラム運営委員会

期間 2015年8月6日～7日

場所 東京大学大気海洋研究所

(3) 可視化情報全国講演会（日立2016）

主催 一般社団法人 可視化情報学会

期間 2016年10月8日、9日

場所 茨城大学日立キャンパス

(4) 第58回海中海底工学フォーラム

主催 海中海底工学フォーラム運営委員会

期間 2016年10月14日

場所 東京大学大気海洋研究所

(5) Autonomous Underwater Vehicles2016(AUV2016)

主催 IEE/OES(Oceanic Engineering Society)

期間 2016年11月6～9日

場所 東京大学生産研究所

2015事業年度決算報告  
(2015. 10. 1～2016. 9. 30)

## &lt;一般会計&gt;

(収入の部)

(単位：円)

科目	予算額	決算額	備考
前年度繰越金	3,308,177	3,308,177	
会費収入	2,612,000	2,437,010	
正会員会費	1,232,000	1,057,100	納入：265名(うち、学生会員3名、EMEMビシーファイナンス34名)
賛助会員会費	1,380,000	1,379,910	納入：46社(EMEMビシーファイナンス3件)
事業収入	539,000	179,100	
広告掲載料	64,000	16,000	納入：1社
機器展示料	285,000	0	
要旨集代金	100,000	75,000	
諸出版物代金	90,000	88,100	学会誌バックナンバー等
雑収入	193,500	180,787	懇親会収入(¥164,500)、利子等
懇親会収入	192,500	164,500	@3,500×47人
雑収入	1,000	16,287	利子及び原稿掲載超過分
合計	6,652,677	6,105,074	

(支出の部)

(単位：円)

科目	予算額	決算額	備考
事務費	1,303,000	1,177,968	
会議費	100,000	109,253	各委員会(出席旅費)等
賃金	78,000	32,740	アルバイト代金
査読謝金	30,000	0	学会論文査読等
通信運搬費	240,000	226,060	会誌発送、ネット料金等
諸印刷費	65,000	21,285	封筒、コピー代
消耗品費	20,000	21,298	文具代等
事務委託費	730,000	745,765	毎日学術フォーラム事務委託費
雑費	40,000	21,567	振込手数料等
事業費	2,370,000	1,947,926	
会誌印刷費	1,500,000	1,044,360	会誌年間2号発行
発表会運営費	350,000	459,926	謝金・交通費・レンタル機材・賞品代・弁当代・盾代・事務委託費
要旨集印刷費	170,000	143,640	要旨集代金
一般講演及び出前講座費	50,000	0	
30周年記念事業 繰出	300,000	300,000	特別会計へ
雑支出	192,500	192,500	懇親会費
懇親会費	192,500	192,500	
予備費	150,000	14,690	
次年度繰越金	2,637,177	2,771,990	
合計	6,652,677	6,105,074	

## &lt;30周年記念事業基金特別会計&gt;

(収入の部)

(単位：円)

	予算額	決算額	備考
前年度繰越金	1,800,000	1,800,000	
一般会計からの繰入	300,000	300,000	
合計	2,100,000	2,100,000	

(支出の部)

(単位：円)


	予算額	決算額	備考
事業費	0	0	
次年度繰越金	2,100,000	2,100,000	
合計	2,100,000	2,100,000	
次年度繰越金	予算額	決算額	
合計	2,100,000	2,100,000	


# 海洋調査技術学会

## 2015事業年度監査報告

監査の結果、2015事業年度「一般会計」及び「特別会計」は、適正に処理されていることを確認しました。

平成28年10月12日

会計監査氏名 中川 一郎 

会計監査氏名 陣 隆夫 

## 2015事業年度の会員数の推移について

(2016年9月30日現在)

平成28年10月17日  
海洋調査技術学会事務局

### 1. 正会員

年度当初の会員数	311名 (うち学生会員 6名)
年度内の入会者数	6名 (うち学生会員 0名)
年度内の退会者数	10名 (うち学生会員 2名)
年度末の会員数	307名 (うち学生会員 4名): 4名減

### 2. 賛助会員

年度当初の会員数	46社
年度内の入会者数	1社 ( (株) 海洋先端技術研究所 )
年度内の退会者数	1社 ( (株) グローバル オーシャン デベロップメント )
年度末の会員数	46社

2016事業年度事業計画案  
(2016.10.1～2017.9.30)

1. 総会及び委員会等

(1) 第28回総会の開催

期日 2016年10月25日

場所 日本大学理工学部駿河台キャンパス1号館

(2) 評議員会の開催

期日 2016年10月25日

場所 日本大学理工学部駿河台キャンパス1号館

(3) 拡大総務委員会の開催

適宜

(4) 総務、企画、編集、広報委員会の開催

適宜

2. 研究成果発表会及び講演会等

(1) 第28回研究成果発表会

期間 2016年10月25日～26日

場所 日本大学理工学部駿河台キャンパス1号館

(2) 機器展示会

期間 2016年10月25日～26日

場所 日本大学理工学部駿河台キャンパス1号館

(3) 一般講演会（海洋調査技術の啓発、地方講演）

期日 未定

場所 未定

(4) 出前講座（海洋調査技術の啓発）

期日 未定

場所 未定

(5) 講演会、シンポジウム等の共催

期日 未定

場所 未定

3. 学会誌

海洋調査技術第29巻1号（通巻57号）（2017年 3月）

海洋調査技術第29巻2号（通巻58号）（2017年 9月）

4. ニュースレター

随時作成、送付



5. HP運用・メールマガジンの配信

HP URL：<http://jsmst.org/>

随時、学会関連情報等をメールマガジンを利用して会員に配信する。

6. 講演会・シンポジウム等への協賛

未定

## 2016事業年度予算案 (2016. 10. 1～2017. 9. 30)

### <一般会計>

(収入の部)

(単位：円)

科目	予算額	備考
前年度繰越金	2,771,990	
会費収入	2,600,000	
正会員会費	1,220,000	納入：307名(うち、学生会員4名、EMEMビーターファイナンス38名)
賛助会員会費	1,380,000	納入：46社 (EMEMビーターファイナンス3件)
事業収入	759,000	
広告掲載料	64,000	納入：2社 × 2回
機器展示料	530,000	納入：7社 + 2015年度8社分(うち会員7社)
要旨集代金	75,000	
諸出版物代金	90,000	学会誌バックナンバー等
雑収入	176,000	懇親会収入、利子等
懇親会収入	175,000	@3,500×50人
雑収入	1,000	利子等
合計	6,306,990	

(支出の部)

(単位：円)

科目	予算額	備考
事務費	1,279,400	
会議費	110,000	各委員会(出席旅費)等
賃金	50,400	アルバイト代金
査読謝金	24,000	学会論文査読等
通信運搬費	240,000	会誌発送、ネット料金等
諸印刷費	65,000	封筒、コピー代
消耗品費	20,000	文具代等
事務委託費	730,000	毎日学術フォーラム事務委託費
雑費	40,000	振込手数料等
事業費	2,750,000	
会誌印刷費	1,300,000	会誌年間2号発行
発表会運営費	350,000	会場使用料・謝金・交通費・賞品代・盾代・事務委託費
要旨集印刷費	150,000	要旨集代金
一般講演費及び出前講座費	50,000	
名簿印刷費	600,000	2年に1度(評議員選挙の年に作成)
30周年記念事業 繰出	300,000	特別会計へ
雑支出	175,000	懇親会費
懇親会費	175,000	@3,500×50人
予備費	100,000	
次年度繰越金	2,002,590	
合計	6,306,990	

### <30周年記念事業基金特別会計>

(収入の部)

(単位：円)

科目	予算額	備考
前年度繰越金	2,100,000	
一般会計からの繰入	300,000	
合計	2,400,000	

(支出の部)

(単位：円)

科目	予算額	備考
事業費	0	
次年度繰越金	2,400,000	
合計	2,400,000	

## 2016事業年度表彰について

### 岩宮賞

該当者なし

### 永田賞

#### 永田賞論文：

「地形から判読した1964年新潟地震発生における断層」

(海洋調査技術 28 卷 1 号掲載)

著者：伊藤 弘志 (いとう ひろし) (海上保安大学校)  
植木 俊明 (うえき としあき) (株式会社海洋先端技術研究所)  
岡村 行信 (おかむら ゆきのぶ) (産業技術総合研究所)

#### 受賞理由：

本論文は、1964年新潟地震震源域においてマルチビーム音響測深機で取得された地形調査データに注目し、断層活動による変位地形の抽出を行うとともに、反射地震探査の既往の結果と比較した。その結果、震源域の変位地形の全容を明らかにした。また、詳細な海底地形データが変位地形の抽出に有効である場合があることを示した。

大きな災害をもたらした1964年新潟地震の震源域における本研究の結果は、地震災害軽減のための基礎的情報としても重要である点も高く評価できる。